

授業科目名	組織マネジメント論	担当教員	富樫 佳織
必修の区分	選択		
単位数	2単位		
授業の方法	講義		
開講年次	3年 第1クォーター		
講義内容	2000年代以降、企業や公共団体といった組織のマネジメントは、組織に所属する個々の「人」と多様性、そして人の集合体である「集団（チーム）」の行動、さらに大きな組織の「文化」に視点をおくことが重要になっている。この授業では、組織に関わる「人」、「集団」、「文化」についての基礎的な概念を学びながら、組織をマネジメントするスキルとは何かを考えていく。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・組織に関わる「人」、「集団」、「文化」それぞれの単位での概念を理解して、説明できるようになる。 ・組織に所属する「人」、「集団」の行動を学び、現代社会でどのようなマネジメントスキルが論じられてきたのかを説明できるようになる。 ・組織の「文化」はどのように醸成され、「個人」と「集団」にどのように影響を与えるのかを理解し、説明できるようになる。 		
授業計画	<p>この授業では組織行動論、組織文化論の理論を学んだ上で、受講生自らが考え、議論をする主体的・能動的な授業を行う。授業ではグループでの議論や発表を行い、各回で学ぶ内容を発展させて意見を出し、まとめる姿勢を求める。この授業は、参考文献で紹介をする組織論の専門書に基づいて学んでいく。</p> <p>第1回 授業ガイダンス/組織マネジメントとは 第2回 組織行動論/組織における個人の行動の基礎 第3回 パーソナリティと感情 第4回 個人の動機づけ 第5回 個人の意思決定 第6回 組織における集団行動の基礎 第7回 「チーム」を理解する 第8回 組織マネジメントにおけるコミュニケーション 第9回 リーダーシップと信頼の構築 第10回 コンフリクトと交渉 第11回 組織文化の基礎 第12回 組織文化とリーダーシップ</p>		

事前・事後学習	<p>【事前学習】配布される授業資料に目を通して、疑問点や質問事項を確認しておく。</p> <p>【事後学習】授業中に学んだことをノートに必ずまとめる。各回の授業後に、学んだこと、受講生が考えたことをリフレクションペーパー（振り返りレポート）としてまとめて提出する。</p>
テキスト	特に指定なし。教員作成の授業資料を配布します。
参考文献	<p>スティーブソン・P ロビンス（著），高木晴夫（訳）（2009）『【新版】組織行動のマネジメント ―入門から実践へ』ダイヤモンド社，ISBN10：4478004595</p> <p>E.H. シャイン，P. シャイン（著），宇田理（訳）（2025）『組織文化とリーダーシップ【原著第5版】』白桃書房，ISBN10：4561237356</p>
成績評価の基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業後のリフレクションペーパー（振り返りレポート）（50%） ・期末レポート（50%） <p>上記から読み取れる授業の理解度を総合して成績評価を行う。</p>
履修上の注意 履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始時に出欠確認をします。 ・授業の遅刻や欠席に関わる連絡は、クラスルームでの個人連絡で事前に連絡をお願いします。リフレクションペーパー（振り返りレポート）に記述された連絡事項は無効とします。 ・リフレクションペーパー（振り返りレポート）では、授業で学んだ内容、グループディスカッションで学んだ内容について振り返りをし、記述してください。 ・リフレクションペーパー（振り返りレポート）での個人的な質問やご要望は見逃す可能性がありますので、授業後およびオフィスアワーで受け付けます。
実践的教育	経営分野の実務経験を持つ教員が、その実務経験を生かして教授することから、実践的教育に該当する。
備考欄	<ul style="list-style-type: none"> ・定員を超過した場合は抽選により選考を行う。 ・毎回の授業で行うグループディスカッションは、グループごとの発表を予定しますので、議論をしながらメンバーの意見を各自で必ず PC やノートを使ってまとめるようにしてください。